

「この命令が目指す目標は、きよい心と健全な良心と偽りのない信仰から生まれる愛です。」

テモテへの手紙第一 1章5節

この手紙は、エペソ教会が、外からやって来る偽教師たちの教えや影響により荒らされておられ、そればかりか、内部（長老たち）から語られるユダヤ教的教えにより、正しい福音を信じたキリストの弟子の中からも信仰から離れる人々が出ている状況に対して、若い伝道者テモテに、この問題にどのように対処するかを書き送ったものです。

パウロは異なる教えに対する警告として、ギリシャ的な思想を背景とした「作り話」や

ユダヤ教の人々による「系図」を利用してのおかしな教えに対して警戒するとともに解決の道を教えています。それは、聖書の教えに従って生きることの大切さです。

パウロはキリストの教会が目指す目標は、「信仰から出てくる愛」なのだと言っています。その愛は三つの条件によって成長していくのです。「きよい心」「健全な良心」「偽りのない信仰」です。そこから出てくる愛に生きるようになる事だということです。

それは人間的な努力の結果ではなく、聖霊なる神の働きによって造り出していただくものなのです。

パウロはイエス・キリストの十字架によって救いを経験しました。かつてはキリスト者を迫害した罪人の自分が救われ「健全な良心」を与えられたこと、それは神の憐れみ以外にはなく、救いは神の恵みによるものだと感謝しているのです。

福音をゆだねられた私たちは、一人一人が御霊の働きによって「きよい心と健全な良心と偽りのない信仰」という三つの起源を与えられているのですから、そこから出てくる愛に生き、キリストの教会を建て上げる者として歩んでまいりましょう。

■宣教地、宣教師状況

2月8・9日の両日、OMF日本委員会がZoomで開催され、石田牧が出席しました。宣教地と宣教師の情報は左記です。祈りましょう。

・コロナ禍の中、帰国準備中であつた宣教師は帰国がかなわず現地にとどまり新しいフェードの働きが始まっています。

・待機中の数名も今後の日程のめどが立たず渡航の解禁を待っている状況です。

・日本への入国を待つ海外からの宣教師も現在10組が待機中です。速やかに入国が可能となるようお祈りください。

・現在、東アジアの状況は非常に不安定な要素が増し加わっています。香港の「国家安全」に関する法律の制定により一國二制度は崩壊しつつあります。今後の動向に注視しなければなりません。

・ミャンマーにおける軍事クーデターにより、一時、現地と連絡が取れない状態が起きました。現在は通常通りの連絡が可能となりました。国際航空路線の閉鎖やデモが激化しています。働き人のためにお祈りください。

【報告 消息】

・小学6年生冬プログラム 報告

7日、茅ヶ崎教会とインターネットで開催で1時間程のプログラムを行いました。ゲーム、賛美、そして林修養生から聖書のお話しがありました。蒲田は小6メンバー3名が参加。楽しい時を過ごしました。